


採取に関する注意:

唾液のサンプル採取前の30分間は、ドナーは飲食、喫煙、およびガムを噛むことは控えてください。

採取前に、スポンジの先端が他の表面に接触しないようにしてください。

使用目的: ORAc collect®·Dxは、唾液のサンプルを非侵襲的に採取するために使用することを意図しています。唾液のサンプルからのヒトのDNAは、隔離され、安定化させて、FDAの許可を得た分子診断用途に適したものとなります。ORAc collect·Dxを使って採取した唾液のサンプルは安定化させて、周囲環境条件で輸送したり、長期間保存することができます。

内容物: 保存溶液を含むキット。

警告および注意:

- Rxのみ。専門用途。
- サンプルの採取前に、指示書をすべて注意深くお読みください。指示書に従わないと、サンプルが不十分になったり、DNAの採取量に影響を与えることがあります。
- 窒息の危険性。スポンジを口に入れる際には注意してください。
- 口腔乾燥症(口の乾燥)があるドナーは、この指示書では十分なサンプルを採取できず、DNAの採取量が少なくなり、サンプルが無効になることがあります。
- 保存溶液が目に入ったり皮膚に接触した場合は、水で洗い流してください。体内に摂取しないでください。
www.dnagenotek.comで製品安全データシートをご確認ください

保管: 15°C-25°C

ラベルの説明:

- [REF] カタログ番号
- [MD] 試験管内での診断医学装置
- CE CEマーク
- UKCA UKCAマーク
- 製造元
- [MD] 医療機器
- ⊗ 再使用しないでください
- [i] 使用方法については使用上の注意をご覧ください
- 📅 サンプル採取期限(使用期限)
- [LOT] ロット番号
- [EC REP] 認可代表者



試験管内での診断用途



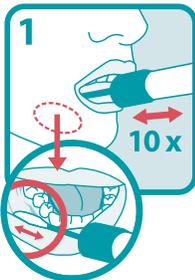
優れたサンプル
実証済みの性能

■ DNA Genotek Inc.
3000 - 500 Palladium Drive
Ottawa, ON, Canada K2V 1C2

フリーダイヤル(北アメリカ): 1.866.813.6354
電話: +1.613.723.5757 • Fax: +1.613.723.5057
info@dnagenotek.com
www.dnagenotek.com

日本語

唾液のサンプル採取方法:

	パッケージを開けて、スポンジの先端に触らないようにしながら採取具を取り出してください。不快に感じない程度までスポンジを口の奥まで入れて、下歯茎に沿って(拡大図を参照)前後にこすり付けてください。優しく10回歯茎にこすり付けてください。可能なら、歯にこすり付けないようにしてください。
	さらに10回、口の反対側で下歯茎に沿って優しくこする動作を繰り返してください。
	チューブを真っすぐ立てた状態に保ち、チューブ内の保存溶液がこぼれないようにしてください。スポンジに触らないようにしながら、青色のキャップを採取チューブから外してください。
	キャップを上下逆さまにして、スポンジをチューブに差し込み、キャップをしっかり閉めてください。
	キャップを閉めたチューブを逆さまにして、10回激しく振ってください。

[EC REP] Emergo Europe, Prinsessegracht 20, 2514 AP The Hague, The Netherlands

英国の認定代理人: Emergo Consulting (UK) Limited c/o Cr360 - UL International, Compass House, Vision Park Histon, Cambridge, CB24 9BZ

オーストラリアのスポンサー: Emergo Australia, Level 20, Tower II, Darling Park, 201 Sussex Street, Sydney, NSW 2000 Australia

ORAc collectは登録商標であり、DNA GenotekはDNA Genotek Inc.の商標です。一部のDNA Genotek製品は、すべての地域で利用できるとは限りません。詳細については、営業担当者にお問い合わせください。DNA Genotekのすべての手順、白書およびアプリケーションノートは、当社のウェブサイト www.dnagenotek.com のサポートセクションで入手できます。

特許 (www.dnagenotek.com/legalnotices)
© 2021 DNA Genotek Inc. (OraSure Technologies, Inc.の子会社) 全権留保。
PD-PR-01211 (JA - Japanese) Issue 1/2021-04